

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（県民部会）

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県連合小学校長会	監 事	佐藤法子	<p>県内各校における活動状況は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 印刷物のリユース・リサイクル、印刷（コピー）枚数の削減 2 資源回収等リサイクル運動（コロナウイルス感染防止のため実施の縮小・中止も多） 3 給食の食べきり、残菜・残飯を少なくする取り組み 4 会議資料のペーパーレス化（会議でのPC使用） 5 連絡事項等のメール配信によるペーパーレス化（主に家庭へ） 6 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた持続可能な開発のための教育（ESD）の推進～特に環境教育 7 保護者・児童への啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度も、令和2年度同様に各小学校における3Rを推進する。 ○ 授業でのPC・タブレット端末使用促進により紙資源を節約することを目指す。 ○ 持続可能な開発のための教育（ESD）を一層推進する。
山形県中学校長会	会 員	有路智子	<p>県内各校におけるエコ活動の推進では以下のような取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 印刷物のリユースとリサイクル 2 会議資料のペーパーレス化（パソコン、タブレット使用） 3 資源回収等のリサイクル運動（PTA、生徒会との連携） 4 広告チラシの活用（ゴミ箱づくり） 古タオルの活用（雑巾づくり） <p>※ 今年度は飲食を伴う会合等などが全て中止になったため、3010運動を実施する機会がなかった。</p>	<p>コロナ禍の状況を見ながら、安全、健康面に配慮しながら令和2年度と同様に県内各中学校におけるエコ活動を推進していく。</p>

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県消費生活団体連絡協議会	会 長	石 塚 久 子	<p>県会員全体の活動の実施は全くできない状態でした。単体としての活動としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃油を利用した石けん作り（米沢市）（東根市） ○ 講演「進行する温暖化、私達はどうか対応するか」「海洋ごみ問題と私達の生活（米沢市）」 ○ 古いバスタオル使用足拭きマット作り（東根市） ○ 研修会「ごみの分別と減量化について」「エシカル消費とローカルSDGsについて」（東根市） ○ 食品を社会福祉協議会に寄付（長井市） ○ 紙芝居による「海洋汚染と庄内浜のプラスチックごみの実態」を学習（長井市） <p>その他の市町村は実施しなかった。</p>	<p>新型コロナウイルスの終息はまだ見えない状態なので県全体が集合して実施する活動は期待できないが、可能の状況になれば「食品ロス」のテーマで県会員全体で学習したい。</p>
公募		伊 藤 智 英	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私が行っているフードバンク活動では、令和2年度（2020年4月～1月）までにご寄付いただきました食品や生活用品は、7697.7kgです。 ○ 2021年1月には、県立山形東高等学校の生徒さんが山形市役所でフードドライブを実施して、約370kgの食品や生活用品をご寄付いただきました。 ○ 2021年2月には、県の補助事業として鶴岡市・米沢市・尾花沢市でスポットフードドライブを実施します。このことにより、多くの方に食品を有効活用できることを知っていただくことにより、ごみとなる食品の削減に効果があると思います。 ○ 個人的には、食品パックや雑紙をリサイクルに出すように努め、マイバックを持参しビニール袋をなるべく購入しないように実践しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度もフードバンク活動を通して食品を有効活用できるように活動を行っていきます。 ○ 県民の多くの方に、フードドライブに参加していただけるようにスポットフードドライブ及びスクールフードドライブを増やしていく予定です。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県保育協議会	副会長	岡崎 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園、こども園は自園調理を行っており、子どもの様子に合わせて、献立や量を考え残菜を出さない工夫に取り組んだ。 ○ 保護者にはマイバック持参の呼びかけを行う。 ○ 新型コロナウイルス感染防止のため、会議や研修会等がオンラインになり、資料等のペーパーレスに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度の取り組みを継続していく。 ○ 家庭でのゴミ削減に向けての、ゴミの出し方のアドバイス等を発信していく。
NPO法人環境ネットやまがた	主 任	河合 麻衣	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 メールマガジン、フェイスブック、ホームページを活用しイベント等の周知を行い、紙（チラシ）等の削減を行った。 3 オンラインセミナーを積極的に活用し、参加者への配布資料の削減を行った。 4 山形県地球温暖化防止活動推進センターの事業で、「ストップ温暖化エコカップやまがた」を開催し、県内の温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動情報を収集し、活動報告会及び冊子を作成した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の中で以下の取組みを継続的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動の情報を収集し、広く情報提供する。
山形県PTA連合会	母親 委員長	高見 佳澄	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県PTA理事会や県PTA母親委員会で「ごみゼロやまがた推進BOOK」パンフを配布するとともに、協力の呼びかけを行った。 ○ 市PTA研修会でパンフレット配布した。 	<p>パンフレット活用し、「ごみゼロやまがた」への協力をお願いする</p>

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県保健環境活動団体連合会	会 長	西 田 忠 一	※ 各市町村衛生組織活動例 ○ 生ごみ処理機購入補助 ○ 不法投棄防止活動 ○ リユース食器利用推進事業 ○ 木材リユース事業 ○ 空缶散乱防止運動 ○ EMボカシづくり講習会 ○ 粗大ゴミ回収斡旋事業 ○ 小型家電リサイクル事業 ○ 環境ポスターコンクール実施 ○ 廃タイヤ回収事業 ○ 資源回収奨励金交付事業 ○ ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕	○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等、循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。
NPO法人 みらい子育てネット山形	理事長	細 谷 由 紀	○ 会員に資料を郵送する際、チラシなども同封し、3Rについて理解を深めてもらえるようにした。 ○ 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 ○ 会議の際、宴会時の3010運動の他に、冷蔵庫点検の3010運動があることを説明し、理解を深めた。	○ 令和3年度も令和2年と同様にごみ減量に向けた活動を行っていく。 ○ フードドライブ活動についての理解を深めたり、実際に行ったりする。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形市	環境部長	松田和巳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 ○ 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 ○ 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源（肥料）化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 ○ 雑がみ回収広報袋を作成・配布したほか、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 ○ 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて広報を行った。 ○ 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収、再資源化を行った。 ○ レジ袋削減のためマイバッグ持参を推進し、成果を確認するため、スーパー等の協力を得てマイバッグ持参率調査を実施し、啓発のためその成果を広報した。 ○ 市民、事業者、行政が一体となってごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」の活動支援を行った。 ○ 同市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減のため、冷蔵庫の中を定期的（毎月10日と30日）に整理する「30・10運動～家庭編～」を推進した。 ○ 同市民団体と連携し、外食時の食べ残し削減のため「30・10運動～新しい生活様式編～」を推進した。 ○ 30・10運動（家庭編、新しい生活様式編）の実践について広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度と同様の活動を継続（予定） ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した、事業者、市民団体と連携したスーパー店頭でのキャンペーン（雑がみリサイクル、食品トレーリサイクル等）は、感染症の状況を見ながら実施を検討する。（予定）

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3 Rに向けた活動状況	令和3年度の3 Rに向けた活動目標
公募		横尾知子	<<個人として>> 1 生ゴミ処理機を利用し、堆肥として活用の継続 2 コロナの影響もあり、買い物回数の軽減の持続 3 家庭ゴミを減らす為、ペットボトル、アルミ缶等積極的に回収ボックス利用の継続 <<事業所として>> 1 車の消耗品以外の部品交換、修理はリサイクル部品の推奨継続 2 社内でも分別の徹底、ゴミ削減の為、電子化の継続 3 電気自動車で、CO2排出量削減の継続	令和3年度も引き続き、3 Rを実施する予定